

旭市液状化対策検討委員会(第2回)会議次第

日 時 平成25年3月15日(金)

午後1時30分～

場 所 旭市役所南分館3階会議室

1 開 会

2 前回議事録の確認 _____ (資料-2)

3 報告事項

(1) 第1回委員会での指摘事項への対応報告 _____ (資料-3)

4 議 題

(1) 地区の概況(補足) _____ (資料-4)

(2) 液状化による被害建物調査結果 _____ (資料-5)

(3) 液状化の検討方法について _____ (資料-6)

(4) 液状化の検証試算結果 _____ (資料-7)

(5) 地質調査計画について _____ (資料-8)

5 その他

(1) 次回日程について

6 閉 会

第 2 回

旭市液状化対策検討委員会

資 料

＜資料構成＞

- 資料－ 1 旭市液状化対策検討委員会 委員名簿
旭市液状化対策検討委員会 事務局名簿

- 資料－ 2 第1回液状化対策検討委員会議事要旨録(案)

- 資料－ 3 第1回委員会の指摘事項とその対応について

- 資料－ 4 地区の概況(補足)
 - (1) 砂鉄採掘鉱区と地形区分
 - －地形区分を追加
 - (2) 液状化による公共施設被害の状況(道路・水道)
 - －道路、水道の個別箇所を反映
 - (3) 地震動の特徴
 - －東大地震研究所地震計記録を追加
 - (4) 地盤状況
 - －地層断面を追加

- 資料－ 5 液状化による被害建物調査結果

- 資料－ 6 液状化の検討方法について

- 資料－ 7 液状化の検証試算結果について

- 資料－ 8 地質調査計画について

以上

旭市液状化対策検討委員会 委員名簿

	氏 名	所 属 等
委員長	石原 研而	中央大学研究開発機構 教授
副委員長	尾上 篤生	長岡工業高等専門学校 名誉教授
委員	塚本 良道	東京理科大学理工学部土木工学科 教授
委員	松下 克也	株式会社ミサワホーム総合研究所 部長
委員	川口 幸男	社団法人千葉県建築士事務所協会 東総支部 支部長
委員	太田 博	旭市建設業災害対策協力会

(敬称略)

旭市液状化対策検討委員会 事務局名簿

氏 名	所 属 等
伊藤 恒男	都市整備課長
岩井 正和	都市整備課主幹
浪川 正彦	都市整備課 都市計画班
林 一美	都市整備課 都市計画班
吉田 昌永	都市整備課 都市計画班
坪井 康之	パシフィックコンサルタンツ(株)九州支社国土保全事業部 環境・地盤室
工藤 富士樹	パシフィックコンサルタンツ(株)国土保全事業本部 環境・地盤技術部
松田 繁樹	パシフィックコンサルタンツ(株)国土保全事業本部 環境・地盤技術部

平成24年度 旭市液状化対策検討委員会（第1回）議事要旨録(案)

- ◆日 時 平成25年1月24日(木) 11:00～12:30
- ◆場 所 旭市役所 本庁舎3階 委員会室
- ◆出席委員 (委員) 石原 研而 (委員長) 尾上 篤生 (副委員長)
塚本 良道 松下 克也
川口 幸男 太田 博 (敬称略)
(事務局) 旭市
パシフィックコンサルタンツ株式会社

◆議 題

- (1) 旭市液状化対策検討委員会について
- (2) 委員長・副委員長の選出
- (3) 検討概要
- (4) 地区の概況
- (5) 現地建物被害調査について

その他

- (1) 現地視察について
- (2) 次回日程について

◆配付資料

- 資料-1 委員名簿、事務局名簿
- 資料-2 旭市液状化対策検討委員会について
- 資料-3 市街地液状化対策事業
- 資料-4 旭市液状化対策事業計画検討概要
- 資料-5 地区の概況
- 資料-6 現地建物被害調査について
- 資料-7 現地視察について

(1) 液状化対策検討委員会について

事務局より、資料-2、資料-3を用いて、委員会設置の目的、市街地液状化対策事業についての説明を行った。

(2) 委員長、副委員長の選出

委員の互選により、石原委員を委員長に、尾上委員を副委員長に選出した。石原委員長、尾上副委員長より挨拶があった。

(3) 検討概要

事務局より、資料-4を用いて、本事業の検討目的、検討対象箇所、検討工程についての説明を行った。

(4) 地区の概況

事務局より、資料－５を用いて、対象地区の造成履歴、液状化の状況、液状化による公共施設被害の状況、液状化による建物被害の状況、地震動の特徴、地盤状況について、既存資料を整理・分析した結果を報告した。

【主な意見・ご質問】

- ・ 資料に示した砂鉄採取鉱区は、飯岡町史から抜粋したものであるため、旭市史、海上町史、干潟町史からも情報を収集した方がよい。
(回答) 了解した。
- ・ 飯岡町史に示された砂鉄鉱区は砂鉄が発見された場所であり、実際に採掘された場所かどうかを再度調べたほうがよい。採掘された場所で整理すれば、液状化の被害の分布とさらに一致するのではないか。旧旭市、旧海上町、旧干潟町についても同様である。史書に記載がない場合でも、採掘に携わっておられた住民へのヒアリング等で調べる方法もある。
(回答) 了解した。
- ・ 空撮写真について、空撮日時と空撮高度を確認して欲しい。
(回答) 確認する。
- ・ 地震計設置位置での液状化の有無を再度確認した方がよい。地震計は市役所及び支所に設置してある。噴砂の有無や電柱が傾斜したかを着目点とするとよい。
(回答) 了解した。
- ・ 追加地質調査について、被害の密集している地域の既存のボーリングが少ないため、調査計画の際には留意して欲しい。加えて、追加地質調査では液状化砂層がどれだけ緩いかをしっかりと把握して欲しい。
(回答) 了解した。

(5) 現地建物被害調査について

事務局より、資料－６を用いて、現地建物被害調査方法について説明を行なった。

(6) 現地視察について

事務局より、資料－７を用いて、午後の現地視察について説明を行なった。

その他

- ・ 液状化対策事業候補地域を選定する上で、特に住民の要望が強い地域や宅地が密集していて大きな被害を受けた地域は、詳細調査を集中的に実施していく必要がある。
(回答) 了解した。
- ・ 事務局より、午後の現地視察の説明と次回委員会の日程調整を実施した。
次回の委員会は、3月15日(金)午後実施することとした。

以上

第1回委員会の指摘事項とその対応について

番号	質問および意見	質問に対する対応
(1) 地区の概況		
①	資料に示した砂鉄採取鉱区は、飯岡町史から抜粋したものであるため、旭市史、海上町史、干潟町史からも情報を収集した方がよい。 (尾上副委員長)	旭市史、海上町史、干潟町史からは砂鉄採取鉱区に関する記載は確認されなかった。 (事務局)
②	飯岡町史に示された砂鉄鉱区は砂鉄が発見された場所であり、実際に採掘された場所かどうかを再度調べたほうがよい。採掘された場所で整理すれば、液状化の被害の分布とさらに一致するのではないか。旧旭市、旧海上町、旧干潟町についても同様である。史書に記載がない場合でも、採掘に携わっておられた住民へのヒアリング等で調べる方法もある。 (尾上副委員長)	尾上副委員長より採掘に携わっておられた住民(2名)をご紹介頂き、ヒアリングを行う予定である。 (事務局)
③	空撮写真について、空撮日時と空撮高度を確認して欲しい。 (石原委員長)	グーグルアースの画像を用いており、撮影日時は2011/3/29及び2011/3/31である。2011/3/29撮影写真のうち未撮影区域及び画像が不鮮明な区域は2011/3/31撮影分を使用した。撮影高度は約705±5kmである。(衛星による撮影) (事務局)
④	地震計設置位置での液状化の有無を再度確認した方がよい。地震計は市役所及び支所に設置してある。噴砂の有無や電柱が傾斜したかを着目点とするとよい。 (尾上副委員長)	干潟支所は沈下は認められたが、液状化が生じたかは不明である。旭、飯岡、海上は液状化の発生は確認されていない。 (事務局)
(2) 追加地質調査について		
⑤	追加地質調査について、被害の密集している地域の既存のボーリングが少ないため、調査計画の際には留意して欲しい。加えて、追加地質調査では液状化砂層がどれだけ緩いかをしっかりと把握して欲しい。 (尾上副委員長)	追加地質調査を実施し、地盤特性を検討することを計画している。(事務局) →資料-8